

その他エ

第71回”社会を明るくする運動”作文・標語コンテスト 広島県推進委員会 入賞・入選作品について

1 大会趣旨

法務省が主唱する“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちや非行をした少年たちの立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、昭和26年に始まり、今回で第71回を迎える。

“社会を明るくする運動”作文・標語コンテストは、次代を担う広島県の小学生及び中学生に、日常の家庭生活、学校生活の中で体験したことを基に、犯罪や非行をした人の立ち直りについて考えたことを作文や標語にすることで、本運動に対する理解を深めてもらうことを目的としている。

2 実施団体

作文コンテスト：法務省中央推進委員会・広島県推進委員会

標語コンテスト：広島県推進委員会

3 対 象

広島県内の小中学生（標語は中学生のみ）

4 受賞者（東広島市代表）

（1）作文（中学生）

“社会を明るくする運動”広島県推進委員会委員長賞（最優秀賞） 磯松中学校 上本 沙南

（第71回“社会を明るくする運動”作文・標語コンテスト審査会（東広島大会）優秀賞受賞）

広島県更生保護女性連盟会長賞（優秀賞） 広島県立広島中学校 川上 悠月

（第71回“社会を明るくする運動”作文・標語コンテスト審査会（東広島大会）最優秀賞受賞）

（2）標語（中学生）

入選 安芸津中学校 長谷川 虎太郎

（第71回“社会を明るくする運動”作文・標語コンテスト審査会（東広島大会）優秀賞受賞）

5 その他

広島県大会作文の部で“社会を明るくする運動”広島県推進委員会委員長賞、広島県保護観察所長賞、広島県保護司会連合会会長賞を受賞した者を第71回“社会を明るくする運動”中央推進委員会に推薦する。本市では磯松中学校 上本 沙南さんが該当。

6 内容

(1) 作文 (中学生)

“社会を明るくする運動” 広島県推進委員会委員長賞 (最優秀賞) 磯松中学校 上本 沙南

題名:『勇気をくれよ』から祖父に学ぶ

内容

上本さんの祖父は、少年時代に非行を繰り返し、特別少年院に入っていた。その経験から考えたことを活かして仏庭師となり、立ち直った。祖父が執筆した本『勇気をくれよ』や、祖父の生き方から、上本さんは犯罪や非行をした人だけでなく、全ての人自分自身と向き合い、人を思いやり、どの命も平等であり大切であると考えれば犯罪、非行のない地域社会づくりができると考えた。そして、犯罪や非行をした人たちが立ち直るにはいろいろな人の力を借りながらすべてのことに意味があるとう理解し、前を向いて進んでいくことの大切さに気が付いた。

広島県厚生保護女性連盟会長賞 (優秀賞) 広島県立広島中学校 川上 悠月

題名:見守りから見る犯罪防止

内容

川上さんは、小学校低学年の頃、地域の方が見守り活動をされているのを見て、「見守りの人がいて当たり前」という感覚を持っていた。しかしある時、見守りの方々から、近くの小学校で誘拐事件があったという話を聞き、衝撃を受けた。そういった事件を二度と繰り返さないという思いで活動されていると知り、見守り活動をはじめ、防犯等に取り組まれているの方々へ感謝の気持ちを持った。そして、今は自分を守ることはできないが、大人になったときに周りの人も守れるようになりたいと考えた。

(2) 標語 (中学生)

入選 安芸津中学校 長谷川 虎太郎

「マスク越し 笑顔が光る 地域の輪」